

2011年7月30日

国際協力 NGO 第4回「インパクト評価入門」研修 アンケート結果の取りまとめ

(一財) 国際開発センター  
業務部

2011年7月21日、22日、国際協力 NGO 第2回「インパクト評価入門」研修を実施いたしました。実施後に回収いたしましたアンケート結果を取りまとめましたので、以下にご報告いたします。

1日目 基本的なアプローチ

研修参加者： 8人

アンケート回答者数：7人

たいへん参考になった	参考になった	ふつう	参考にならなかった	まったく参考にならなかった
5	2	0	0	0

主なコメント：

- 講義・実習・事例紹介の組み合わせにより、よく理解することができた。
- インパクト評価について理解を深めることができた。
- 各々のモデルの特性、評価の考え方がよくわかり、担当している事業の評価方法に応用できそうに思えた。
- これまで数字を使用した報告書を取りまとめていなかったため、とても参考になった。
- 「評価とは何か」という定義が明確になった。インパクト評価手法の分類(特徴・違い等)がクリアになった。
- 多くの事例が取り入れられていたのでイメージがしやすかった。
- アナログな演習や計算式の説明もあったので、理屈と視覚的にもイメージでき、理解しやすかった。
- 基本的な評価手法を体系的に学ぶことができた。
- 評価というものを論理的に整理することができた。特に実験モデルは参考になった。

2日目 集計表による分析

研修参加者： 8人

アンケート回答者数：6人

たいへん参考になった	参考になった	ふつう	参考にならなかった	まったく参考にならなかった
4	1	1	0	0

主なコメント：

- 標準偏差やt検定の原理をわかりやすく教えていただき、よく理解することができた。
- 統計を利用することで説明の説得力が増すように思う。思ったより簡単に活用できそうなのでぜひ使ってみたい。
- エクセルの機能の使い方も身に着けることができた。1日目に学んだ考え方を使いこなすツールとして理解できた。
- 数字をどのように成果につなげるのかが理解できた。報告書にも有効活用できそう。
- まったく知らなかったエクセルの使い方から学ぶことができた。
- ゼロからの勉強になった。説明がわかりやすく、意図することは理解できた。
- t検定は、「統計学的に有意である」という説得力を持った結論を導く道筋を示してくれ、参考になった。

以上